

平成 2 4 年

第 3 回仙北市議会定例会

教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成24年第3回仙北市議会定例会の開会にあたり主な事項についてご報告をさせていただきます。

### 【教育指導課】

小・中学校の給食食材の放射性物質の測定結果について

県の「安全・安心のための学校給食環境整備事業」により実施されている給食食材の放射性物質の測定において、田沢湖・角館・西木の3給食センターの食材について、これまで3回検査を実施（4月12日、5月15日、5月25日）しております。生鮮食材8品目（埼玉県産きゅうり、岩手県産もやし、千葉県産大根、秋田県産チンゲンサイ、精米など）を検査いたしました。セシウム134とセシウム137については、いずれも不検出となっております。

なお、検査結果については、市のホームページや市の広報、給食センターだより等を通じて市民や保護者に結果を公表しております。

仙北市育英奨学資金の奨学生の決定について

今年度から新たに募集いたしました「仙北市育英奨学資金」には、高校1人、専門学校7人、短大1人、国公立大学4人、私立大学6人の合計19人から申請がありました。

5月15日に仙北市育英奨学資金運営審議会（市内中学校・高等学校長、学識経験者、地域センター長等8人）を開催し、学校長の推薦内容や学業成績、所得状況を参考に選考した結果、申請された19人全員が奨学生として決定されました。

かくのだて幼稚園のアスベストについて

4月に県の幼保推進課から私立かくのだて幼稚園で耐震補強工事を行うため、改修方法の確認時に天井裏内部の梁等鉄骨部材に厚さ10ミリ程度のアスベストが吹き付けられているのが確認されたとの連絡を受けました。

幼稚園では、直ちに「遊び場」と「2階教室」の室内空間アスベ

ストの浮遊調査を実施したところ、アスベストの浮遊は認められないとの検査結果が出ております。

また、保護者に対しては、幼稚園長から文書で周知するとともに、先月の保護者総会においても説明がなされております。

アスベストの除去工事は、耐震改修工事と併せて9月以降に実施し、その間、園児を一時安全な場所で過ごさせる必要があることから、その対応について相談を受けました。

市としても平成20年度に県から幼稚園設置に係る許認可事務の権限委譲を受けており、仮園舎として角館地区東公民館の一部を利用してはどうかとの助言をしております。その後、幼稚園関係者による現地調査を行っていただいた結果、ぜひ利用させてもらいたいとの意向を確認しております。

幼稚園では、耐震補強及びアスベスト除去工事について、国と県の補助金活用を希望しており、県においては嵩上げ補助ができないか検討している状況です。市としても仮園舎の提供と財政支援ができるよう検討してまいります。

### 【生涯学習課】

#### 西木フラワーロードについて

西木フラワーロードは、土の不足等による花壇の盛土工事を6月20日まで完了し、7月1日の一斉植栽に向けた環境整備を実施しております。

また、今年度は花いっぱい推進事業で、西木地区だけでなく田沢湖地区や角館地区にも花の苗（マリーゴールド）を配付いたします。地域の環境美化に加え、住民相互の交流の輪が一層活発になり、地域の魅力アップや活性化につながることを期待しております。

#### 国民文化祭について

平成26年度に国民文化祭が秋田県で初めて開催されます。開会式の総合プロデューサーが西木正明さん、大会テーマソングのプロ

デュースはh a - j（ハーージェイ）さん、閉会式を劇団わらび座が担当するなど、仙北市にかかわりのある方々で主要な役割を担う予定です。現在、仙北市で開催する事業は、大正琴の祭典や民俗芸能の祭典、文学や歴史等をテーマにした事業を予定しております。今年度中に実行委員会を設立し、事務局体制を強化するため任期付き職員の採用を検討しております。

また、今年度の国民文化祭市町村主催事業交付金交付要領が県から示されましたので、関係する経費について今定例会に補正予算を計上しておりますので、よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

#### 【学習資料館・イベント交流館】

##### 学校図書館支援事業について

学習資料館では「学校図書館支援事業」として、図書館支援員2人が市内小・中学校12校を定期的に訪問し、図書のデータ入力、図書の発注、書架整理、配架デザイン等、学校図書館の環境整備作業を4月下旬から行っております。各学校に専任の司書がない現状において、図書担当教諭の手助けとなっており、今後とも小・中学校との連携を密にしながら本事業の円滑な推進に努めてまいります。

##### 「愛の手紙展」・「武士の日記を読む展」について

日本近代文学館の協力のもとに夏目漱石、芥川龍之介、太宰治ら明治以降の文豪たち12人の恋人や妻、家族にあてた手紙やゆかりの品を展示した「愛の手紙展」を4月21日から5月27日まで開催し、多くの入場者が訪れ好評の内に終えることができました。

また、6月30日から7月29日まで、秋田県公文書館の協力のもと「武士の日記を読む展」を開催いたします。県の文化財である佐竹北家日記をはじめ、藩士の公務や活動の様子、藩や国内の情勢をうかがうことのできる資料が展示されますので、多くの方々のご

来場をお待ちしております。

### 【スポーツ振興課】

チャレンジデー2012について

住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2012」が5月30日全国一斉に開催され、仙北市は2度目の参加となりました。

今年は、西木町西明寺地区の桜木内川河川公園を主会場とし、開会式直後の仙北市民交流グラウンドゴルフ大会には200人以上が参加し、随所に見せる好プレーに歓声が響き渡りました。角館地区では、チャレンジデー参加者に文化施設の無料開放や歴史案内人などの協力を得て、観光客や市民の皆さんが武家屋敷などを散策しました。

田沢湖畔では、スポーツ推進委員がウォーキングの講習会やフライングディスクなどで観光客の皆さんに運動を呼びかけ、多くの方々のご参加をいただきました。

地域運営体の皆さんからは、事業の周知や参加呼びかけにご尽力いただき、チャレンジデーへの参加推進にご協力をいただきました。

市民等の参加率は36%で、目標としていた金メダルの55%に届かず、残念ながら銀メダルとなり、対戦相手の広島県竹原市は、参加率55.5%で金メダルを獲得しました。仙北市は敗れてしまいましたが、チャレンジデーを継続することは、年間を通じたスポーツ推進を図るため必要なことと捉え、次年度へ向けた取り組みを各スポーツ団体や関係団体と協議し、市民の皆さんの運動に対する関心を一層高め、体力向上と健康増進につなげて行きたいと考えております。

なお、大会の基本ルールにより対戦相手の勝利を讃え、竹原市の市旗を1週間庁舎に掲げております。

### 【文化財課】

「読売あをによし賞」について

「仙北市さくらアドバイザー」として、教育委員会で委嘱しております黒坂登氏が第6回「読売あをによし賞」の奨励賞を受賞されました。この賞は文化財の保存・修復の現場に光を与えることを目的に創設されたもので、黒坂氏は永年にわたり天然記念物、名勝指定の桜の管理にご尽力され、市役所退職後も後進の指導にあたるなど「仙北市の桜」を全国に知らしめていることが受賞につながったものです。黒坂氏のこれまでの努力に感謝するとともに、これからも更なる活躍をしていただきたいと思います。

#### 白岩焼窯跡のき損について

白岩焼窯跡のき損に至った経緯について、5月22日に秋田県教育委員会へ顛末書を提出しております。秋田県教育委員会からは5月25日付けで、秋田県指定史跡白岩焼窯跡のき損に係る対応について「仙北市教育委員会による不適切な判断も原因の一つと考えられることから極めて遺憾であり、き損箇所を復する手立を講ずるとともに再発防止に取り組むこと。」の通知がありました。

原状回復については、秋田県文化財保護室の指導を受けながら、脇に寄せられている表土で覆土して行く予定です。

さらに、再発防止については「所有者やき損箇所などを改めて確認し、現状の把握と所定の手続き、届出を行うなど適切な対応をするとともに、指定文化財の所有者に対しては、文化財保護条例に定める所定の手続き等について周知を図り、文化財保護に関する研修を行うなど、文化財保護業務に関する体制の強化、文化財の適切な保存・活用に関する普及啓発に努めること。」の指導がありました。

今回、所定の手続きを失念したことにより、皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことに衷心よりお詫び申し上げます。

#### 「ご当地応援定期貯金」による寄附について

秋田おばこ農業協同組合で昨年から取扱っておりました「ご当地応援定期貯金」は4月末をもって終了し、秋田おばこ農業協同組合

管内 14 団体等へ寄附の贈呈がありました。角館の桜保護に対しては 12 万円の寄附をいただいたことに感謝申し上げますとともに、寄附の趣旨に沿うよう桜保護に充当できる有効な使途を検討したいと考えております。

#### 【平福記念美術館】

##### 「奇跡のピアノコンサート」について

平福記念美術館の桜まつり期間中の入館者数は、2,258 人と前年比約 7% の伸びとなっております。前半は客足が伸びず、天候がくずれた 5 月 3 日から最終日の 6 日までの 4 日間がピークとなりました。会期中に開催された「Oto を楽しむ会」主催の奇跡のピアノコンサートは、5 月 1 日に開催された角館町出身のテノール歌手、本田武久さんが出演した回が最も盛り上がりを見せ、テレビ局が取材に入るなど注目度の高さがうかがえました。

##### 「歿後 10 年佐々木裕久展」について

4 月 14 日から 5 月 20 日まで開催された「歿後 10 年佐々木裕久展」は、3,391 人のご来場をいただきました。故佐々木裕久氏のご家族やご親戚の方も鑑賞にみえられ、歿後 10 年の節目を偲ぶとともに、独創的な世界観が改めて多くの方々の印象に焼きつく機会となりました。

##### 「恵花会展 2012 in 角館」

5 月 25 日からは、現代日本画の企画展「恵花会展 2012 in 角館」を開催しております。現在 30 人の作家が在籍し研鑽を重ねる日本画研究会恵花会会員の中央展出展の大作を中心に 50 点を展示しており、現役作家の十人十色の表現が一同に会した非常に見ごたえのある内容となっております。恵花会からはリーフレット配布や広報活動等の協力を得ており、ぜひ大勢の方に現代日本画の魅力を楽しんでいただきたいと思います。

「福島よねくらとおるの画人 米倉 兌・ひろながたけひこ廣長威彦展」について

東日本大震災から1年以上が経過しましたが、現在も日本全体が復興に向かっている状況の中、仙北市として少しでも東北を元気にすることができればとの思いから、福島県出身の画家、廣長威彦先生のご協力をいただき、廣長先生の作品と先生と親交が深かった故米倉兌先生の作品展を6月30日から9月10日まで開催いたします。

福島県出身の両画家の展覧会を開催することで、福島を始め東北の方々の励ましになればと願っておりますので、皆様のご来場をお待ちしております。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ教育行政報告といたします。